

音楽を共有できる喜び

石井克典

先日は音楽友の会の演奏会に出演させて頂き、またお忙しい中、沢山の方々にお集まり頂き本当にありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。

さて今回、私が最近考えたり思ったりしていることを、恥ずかしながら書いてみます。

つい何年前かに新聞か何かで読んだのですが、欧米人に対するアンケートで「あなたが最も官能的と思える音楽のジャンルは何か」という質問に対して、一番多かった回答がクラシック音楽だったのです。私はとても納得して嬉しかったのと同時に、感心してしまいました。どれくらいの数の人を対象に質問したのかは覚えていませんが、音楽家やその愛好家に対するものではなかったと思います。欧米人が皆クラシック音楽が好きだとは到底思えませんし、むしろロックやポップスが好きな人が大多数なことは事実です。しかし、好き嫌いは別としてそのようにとらえている人が沢山いることを知り、クラシック音楽家として喜んでしまいました。

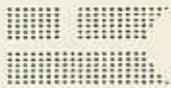
クラシック音楽は、モダンジャズと並んで最も感情表現の種類と幅が多い音楽ですから、曲のメインとなる感情も様々です。ほんの数例だけでも色恋から愛国心、道徳心、自然に対する慈しみの心、などと計り知れない幅です。そのなまの心の動きをこと細かく音にしています。即ち、一曲中にも、いろいろな感情の移り変わりが具体化されているということです。それをなまの人間が脳からつま先までを全員集合させて具現化する、という（何だか変な説明になってしまいましたが）のが演

奏というものです。うまくいくと聴き手の人々のあらゆる感覚器官、即ち「心」に届くのです。と、私はあのアンケート結果を読んで、自分なりにメカニズムを分析してみました。

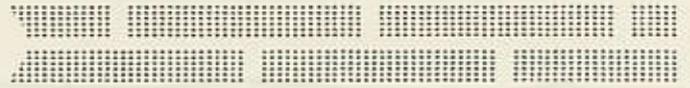
ではいかにして多くの聴衆と、様々な曲を共有して感じて頂けるか考えた時、5年間住んだニューヨークでの音楽会や、アメリカの音楽祭での経験を思い出しました。それは一流と言われる演奏家たちが自ら楽曲のことを語ったり、プログラム解説を書いたり、曲へのアプローチを説明している光景でした。しかもイタリア語やドイツ語の楽譜も英語に直し、誰にも分かるように。最近の現代美術などを見る時、パンフレットが必要なように（私は古い有名な絵でも解説やパンフレットが必要ですが）時に説明というのは、芸術を楽しむ上で必要なものだと考えるようになりました。勿論、それは一つの価値観を押しつけるものであってはなりません。この間東京でマウリツィオ・ボリーニというピアニストが現代音楽のレクチャーを英語でしていましたが、私は、日本でも私達音楽家が現代音楽だけではなく、名作曲家の名作品の知られざる部分を、どんどん伝えたいなあと思います。「クラシックは一部の人のもの」といった時代は、とうに終わっているのですから。

私は浜松出身者として浜松を誇りに思っています。市の音楽活動も内外の注目的ですが、ふれあい音楽会のような活動が、長年にわたって運営されていることと、それに出演させて頂いたことに大きな誇りを感じています。これからもより良い音楽の伝達、創造ができるよう精進してゆきたいと思います。ありがとうございました。





黄金の保育室



能勢みゆき

友の会が発足して15年、私も高校時代から会員とさせていただいております。今の私には心おきなく音楽会を楽しめる唯一の会です。

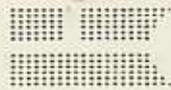
長い独身生活の間、行きたいコンサートにはすべて出掛け、その後はお友達と食事というパターンに慣れていたせいか、結婚して子供ができてからはとにかく不自由なこと……。

主人は自分も好きなことをするから、私にもそうしていいと言う人なので、二人の生活の頃はよく出掛けていましたが、子供が生まれてからはさすがにそういうわけにもいきません。主人は相変わらずの行動ですし、私が仕事の間、子供は両親にみてもらっているので、それ以上は頼みづらいのです。もし、頼んだとしてもアンコール前に席を立ち、暗闇の中を足音を気にし

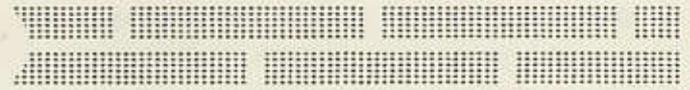
ながらドアまで行き、ホールを出たら駐車場までひたすら走り、実家まで最短時間で子供を迎えに行く有様です。

そんな中、友の会には保育室があるのです。（私の中では黄金の保育室と呼んでいます。）手のかかる子供を演奏が終わるまでの2時間半の間預かっていただいて500円とは大変申し訳なく、しかし、とてもありがたいシステムです。子供はいつもなら、疲れている主人や私に相手をしてもらわなければなりません、あり余る体力を存分使ってお友達と遊べて楽しそうです。私の方もアンコールまでじっくり聴くことができます。そのうえ、様々な楽器による素晴らしい演奏を聴けるので、毎回とても楽しみです。

これからもぜひ、この会には足を運びたいと思っています。



うれしいお便りのご紹介



—— 浜松が文化的に誇れるもの ——

花尾 四郎

浜松音楽友の会スタッフの皆様へ

初めてお手紙さしあげます。

私と浜松音楽友の会とのおつきあいは第1回のコンサートからです。前回の10月の声楽のみ、都合で聴き逃しましたが、それ以外は全部聴かせて頂きました。

1番上の子供が生後6ヵ月ぐらいから保育室に預かっていただき、2番目も3番目も同じようにお願いして、家内共々コンサートを楽ませてもらいました。

毎回異なったジャンルの有名な曲から、めったに聞けないような曲まで、本当にバラエティに富んだ曲目と演奏者で飽きることはありませんでした。

演奏会の曲目、演奏者はいったいどのように決めるのか非常に興味のあるところです。

私は浜松以外の音楽の友人に、機会あるごとにこの「四季のコンサート」のことを、浜松の文化活動で自慢できる数少ないものの一つだと紹介しています。

「安い年会費」「ソロからオーケストラまで様々なジャンルの音楽が聴けて、内容も充実している」「低料金の託児」と何拍子も揃ったコンサートは、日本中を探してもそんなにあるものとは思えません。

また来年のコンサートを楽しみにしております。

1997年12月2日

なお、花尾さんはご自分のインターネットのホームページにも音楽友の会のことを〈四季のコンサートと私のかかわりについて〉という題で載せて下さっています。

「この四季の会は市や県がやっているものではなく、音楽愛好家が集まって企画、運営しているもので、浜松が文化的に誇れるものの一つです……等々」一度のぞいて見てください。

これからのコンサート予定

秋

15周年記念 二期会合唱団演奏会 10月25日(日) 2:30 PM

指揮・鈴木織衛 ピアノ・相庭尚子
大島洋子 (ソプラノ) 大島幾雄 (バリトン)

15周年を記念する特別コンサートです。日曜日の昼間の公演(マチネー)ですので、皆様お誘い合わせしてお忘れなくお出掛け下さい。日本を代表するオペラ合唱団である二期会合唱団の浜松初コンサート。オペラの舞台を再現させてくれる後半はソプラノの大島洋子、バリトンの幾雄夫妻との共演です。皆様におなじみの曲、また一緒に歌う曲など多彩なプログラムをどうぞお楽しみ下さい。



プログラム

第1部

ドリッチ・トラッチ・ホルカ……………ヨハン・シュトラウス
ほたるこい……………わらべうた
箱根八里……………山田 耕筈
山彦……………ラッソ
初恋……………越谷達之助
悲しくなった時……………中田 喜直
私の愛しい人……………ドナウディ
最後の歌……………トステイ
美しき青きドナウ……………ヨハン・シュトラウス
紅葉(全員合唱)……………岡野 貞一

第2部

「カバレリア・ルスティカーナ」より
開幕の合唱……………マスカーニ
「ファウスト」より
宝石の歌……………グノー
「マクベス」より
哀れみも誉れも愛も……………ヴェルディ
「こうもり」より
開幕の合唱……………ヨハン・シュトラウス
「こうもり」より
伯爵様あなたのようなお方は……………ヨハン・シュトラウス
「カルメン」より
闘牛士の歌……………ビゼー
「カルメン」より
終幕の合唱……………ビゼー

冬

古楽器アンサンブル アントネッロ演奏会 12月22日(火) 6:45 PM

濱田芳道 (コルネット&リコーダー) 永田平八 (リュート)
石川かおり (ヴィオラ・ダ・ガンバ) 西口まりえ (チェンバロ&ハーブ)
野々下由香里 (ソプラノ) 市瀬陽子 (古典舞踏)

珍しい古楽器のアンサンブルに、ソプラノと優雅なバロックダンスの踊り手が加わります。今年の最後を締めくくる魅力的なコンサートです。

プログラム

チューダ王朝時代の英国宮廷音楽
・涙のパヴァーヌ
・グリーンズリーヴス

他



1999年 ふれあいおんがくかい 予定

77
ワシントン
↓
全

春

アウロス木管五重奏団演奏会 4月1日(火)

1981年に結成されたドイツを代表する木管五重奏団。それぞれがソロ活動に加えてオーケストラの重要団員でもある。五重奏団として数々の賞に輝き、またベルリン音楽祭など、各地で活発な演奏活動をしている。

夏

鮫島有美子 ソプラノリサイタル 8月3日(火)

ピアノ ヘルムート・ドイチュ

待望のソプラノの登場です。夫君であるドイチュ氏との息の合った演奏は彼女の魅力的な舞台姿ともあいまって素晴らしい歌曲の世界へ誘ってくれることでしょう。

秋

相沢吏江子 ピアノリサイタル 10月 24日(木)

1988年春、13才でカザルスホール・オープニングシリーズにソリストとしてデビュー。その後ミエチスラフ・ホルショフスキーの最後の弟子としてカーティス音学院に学び、ジュリアード音学院大学院ではピーター・ゼルキンに師事。史上最年少で1988年にマールボロ音楽祭(アメリカ)に参加。また音楽祭の出演者による全米ツアーのメンバーに選ばれている。今後最も期待される若手ピアニスト。フィラデルフィア(アメリカ)在住。

冬

安永 徹 ヴァイオリンリサイタル 11月 3日(水)

ベルリン・フィルのコンサートマスターという重責を永年にわたって果している日本が世界に誇るヴァイオリニスト。浜松初のコンサートです。

浜松出身の演奏家シリーズ 6月 9日(水)

竹村淳司 ホルンリサイタル

浜松商業高校吹奏楽部出身の期待の新人。

第11回日本管打楽器コンクール第1位入賞。東京シティー・フィルの団員として活躍する一方、各オーケストラのトップ奏者による“東京ホルンカルテット”のメンバーでもある。

各回共 於：はまホール

お願い！ 演奏会に足を運んで下さい

音楽友の会には現在、はまホールを満席にするくらいの会員の方がいらっしゃいます。ところがこの頃、空席が目立ち大変寂しく思っています。一人でも多くの方にいらっしゃっていただき、会場いっぱいの人と拍手で演奏者をお迎えしたいと願っています。どうぞ演奏会の日時をお忘れになりにませんようにお気をつけ下さい。もしお出かけになれない時は、チケットをお知り合いの方にさし上げて、一枚でも無駄にしないで頂けたら嬉しく思います。

スタッフ一同

★会員の皆様へのお願い★

会員だより 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内でお願いいたします。テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所 氏名 電話 会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡下さい。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所 氏名 電話 会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、有本 ☎053(449)0457までお申込下さい。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。